

## 東京地教研・2025年4月例会

地理教育研究会編集発行の『地理院地図で東京を歩く』を実際に歩いて花見も楽しむ東京4月例会です。今回は都心を離れ、多摩川の原水が流れる玉川上水沿いを歩きます。JR青梅線・羽村駅から多摩川に向かって段丘を下っていくと、羽村取水堰に到着します。堰の様子を観察し、そこで取水された水は第三水門から村山貯水池などに送られ残りはそのまま小平監視所まで流れ、東村山浄水場に送られます。小平から下流は清流復活事業によって多摩川上流水再生センター（昭島市）の水が流れています。

玉川上水は江戸に向かって、武蔵野台地の尾根筋を流れているので分水が可能で、江戸時代、野火止用水などにも分水され、水の乏しい武蔵野台地の開発に貢献しました。一番低い位置の多摩川から取水された玉川用水はどのようにして台地の尾根筋まで登るのでしょうか。今回歩くコースでもしだいに上位の段丘に近づいていく様子が観察できます。今回は『地理院地図で東京を歩く③』（清水書院）の16番「羽村・福生を歩く」のコースを歩きます。

〔見学コース〕約6km。羽村市、福生市

⑤JR青梅線・羽村駅→①まいまいず井戸→②玉川水神社→③羽村取水堰→④羽村市郷土博物館→⑤第三水門→⑥堂橋→⑦新堀橋（新東京百選）→⑧加美上水橋（福生貨物支線跡）→⑦田村酒造場→⑧旧ヤマジュウ田村家住宅→⑥JR青梅線・福生駅

●なお、天候や時間の制約などにより、少しコースを変更することもあります。

### 〔地域の概要〕

- (1) 羽村市や福生市は武蔵野台地の南縁西端に位置し、多摩川に面して河岸段丘が発達している。おおまかに横田基地、JR八高線のある上位の立川面、JR青梅線が通る下位の拝島面、さらに2段の低位段丘からなる。
- (2) 羽村取水堰で取水された水は、現在も東京都の水道水として使われており、玉川上水の上流部は多摩川の原水が流れる。
- (3) 青梅線開通以降、多摩川の砂利の採取がさかんに行われたが、環境に悪影響を与えるようになり、1965年、砂利の採取は禁止された。

### ●日時

2025年4月5日（土）14時30分～17時

### ●集合場所

JR青梅線・羽村駅改札前 14時30分

### ●参加費

500円（資料代）

### ●案内 吉本，高田

